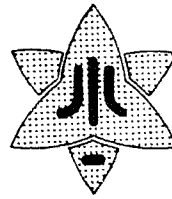


学校紹介

シリーズ7



谷 一 小

谷村第一小学校は、都留市上谷一丁目一番二号（海拔四七五m）に所在しています。

この地はかつて、郡内の要鎮谷村城の置かれた所でもあり、古い歴史と伝統に包まれて児童は発らつと学校生活を

小侯校長が一年生に
▼ タイムカプセルの説明



送っています。

児童数は一、〇八二名と、市内小学校中最大規模を誇りこの数は県下でも有数な存在になっています。

校舎が大きく、しかも市街地に面しているため、非常時の避難訓練には特に意を注ぎこの大所帯がす早く避難経路から指定場所へ移動できるよう、年四回の非常避難訓練には熱がこもります。

クラブ活動もさかんで、つり、将棋、囲碁、レタリングなどたいへんバラエティーに富んでいます。

過去と未来を結ぶ

タイム・カプセル

鷹が両翼をひろげたように左右に長くのびる東校舎と西校舎。その付け根の正面玄関の上に、ちよつと目を引く銀色の物体があります。

この物体は名づけて「タイム・カプセル」

ちよつと今から十年前、創立百周年の記念事業として製作したもので、当時の在校児童が、五十年後の開封を約しそれぞれに思い思いの物品をこのカプセルに収納したそうです。

グラウンドで楽しみに遊ぶ子供たちを毎日ながめながら、静かに時を刻むこのタイム・カプセル——四十年後の開封で、児童たちに与える影響はどんなものがあるか。今から楽しみます。

▼11月30日に行われた避難訓練



温故知新—わが興讓館

谷村第一小学校長 小侯嘉助

今から四五〇年前、小山田越中守信有が谷村へ館（谷村城）を築いた場所が、ちよつどこの谷村第一小学校のあるあたりであったと伝えられています。

その後、浅野氏が城山に築いた勝山城といい、江戸時代に秋元氏が完成させた谷村城といい、それは今、谷村第一小学校の立っているこの場所が発祥の地であると考えてもいいのではないのでしょうか。

学校の沿革史によると明治六年、谷村陣屋を仮用して小学校を開設したのが本校のはじまりであります。谷村代官佐々木道太郎は陣屋屋敷を興讓館（本校郷土資料館参照）として、勉強しようとする子どもには誰にでも学問を教えたいということでした。

このようにみえてみると、本校が学問の場のして歩み出したその源は興讓館であり、本校誕生の伝統ある誇りを大切にしていきたいと考えております。

一小学校の跡をたぐつてみると、学校のない時代から学問を勤める場となつていたところでもありますし、また郡内における政治・経済・文化の中心として、人々のくらしの繁栄のために大きく貢献してきた所でもあります。

私たちの学校は創立一一〇年を経てきておりますが、学校の置かれていた場所が、このように人間形成にふさわしい歴史と伝統のうえに創設されているということは、市内に誇りうるものと思います。

本校の校歌に、「花に明けゆく城山の・・・」とあるように、甲府に次ぐ城下町として栄えた谷村には、伝統的にはぐくまれた尚武の精神、（スポーツマンシップ）或は進取の気象など、すばらしい人間的な気骨が多分に継承されていると思われまふ。

先人先輩の築いた文化の薫を、次代を担う子どもたちの心と力になるよう育て上げていくことが、私たちの責務であると感じています。